

令和元年度一般会計補正予算 3億4474万円を追加し  
**総額 227億8207万円**

エンゼルスポット管理運営費  
 管理人報酬、施設維持管理委託料、JR福岡駅駅舎施設賃借料など 486万円

小学校校舎施設整備事業費  
 小学校工事監理委託料、小学校大規模改造工事費 1億5363万円



赤ペン先生に採点をしてもらう子どもたち



6月に開園した日時野あおぞら保育園

認可保育所運営事業費  
 保育所施設整備補助金 8085万円

農業用施設整備事業費  
 農業用ため池ハザードマップ作成委託料 937万円

自治体ポイント事業費  
 自治体ポイント事務委託料など 290万円

財産の取得について

1億221万円

賛成多数で可決

津屋崎古墳群史跡等買い上げ事業用地として取得した。本件は福津市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定によるものである。

本案に対する付帯決議※

今後、「古墳群整備や保存管理」にあたっては「新原・奴山古墳群の整備計画」の主旨にのっとり地域住民をはじめ市民への情報共有及び共働をこれまで以上に、丁寧に対応して進めること。

※付帯決議とは、議案に関して議員の意見や要望を加えた決議。

7月臨時会

令和元年7月31日開催



世界遺産 新原・奴山古墳群

一般会計補正予算について

総務費 特別職給 △12万円  
 事務局費 教育長給 △3万円

全員賛成で可決

市の再任用職員が飲酒運転で逮捕されたことを受け、市長、副市長、教育長の報酬減額を行ったことによる補正予算。

## 幼児教育・保育の無償化に伴う条例を改正

### 全員賛成で可決

10月から始まる幼児教育・保育の無償化の制度によって、幼稚園・保育所(園)・認定こども園などを利用する3歳以上児と、住民税非課税世帯の0〜2歳児は保育料が無償化となる。

今回の制度改正では3歳以上児について、従来から保育料とは別に負担していた主食費(米・パン等)に加え、今まで保育料の一部として負担していた副食費(おかず・おやつ等)についても保育料とは別の徴収方法となる。

主食費及び副食費の費用徴収について本市の条例を改正した。



栄養豊富な給食



園児たちの給食の様子

## 福津市印鑑条例を改正

### 全員賛成で可決

今回の政令及び条例改正により、婚姻等で姓(氏)が、住民票やマイナンバーカード、住民票の記載事項を基に作成される印鑑登録証明書等に併記されることになる。

これにより、各種の契約締結や就職等で、旧姓をそのまま使用しようとする場合、本人確認ができるようになり、個人の社会活動が活発になることが見込まれる。

## 福津市税条例等の一部を改正

### 全員賛成で可決

地方税法等の改正に伴い4つの改正を行った。

**子どもの貧困対策**として単身児童扶養者(未婚の母など)のうち低所得者に該当する者を令和3年度から住民税非課税の対象者に組み入れる法改正がなされている。これにかかる住民税申告関係書面の様式を変更する条例改正を行った。

**加熱式たばこの課税標準**を決める際の本数換算の乗率の改正を行った。

**軽自動車税のグリーン化特例**による燃費基準等に応じた経過措置について令和3年度まで延長させる改正を行った。

**10月1日から自動車取得税**に代わって導入される軽自動車税環境性能割を消費税率引き上げなどに伴う負担緩和のため特定期間減免する改正を行った。

(市民福祉委員会審査報告)

9月30日旧津屋崎郷づくり拠点廃止、10月1日神興郷づくり、12月1日勝浦郷づくり拠点供用開始

### 全員賛成で可決

津屋崎郷づくりは現在「まちおこしセンターなごみ」を郷づくり拠点としている。このため今ままで使用していた拠点を9月30日で廃止。また神興郷づくりは新拠点が10月に完成した。勝浦郷づくりについては12月に新拠点が完成する予定である。

#### 主な質疑

**問** 旧郷づくり拠点の今後は。

**答** 旧津屋崎郷づくり拠点は平成11年建築でインターネット環境や駐車場があるので今後も使用する検討をしている。旧神興郷づくり拠点は学童保育所に返還する。

(建設環境委員会審査報告)



## 福津市森林環境整備基金 条例の制定

### 全員賛成で可決

森林環境の整備及びその促進に要する経費に充てるため、森林環境譲与税を財源とした新たな特定目的基金を設置するための条例を制定する。

#### 主な質疑

**問** 収入として市に入ってくる森林環境譲与税の額はいくらか。

**答** 今年度は約298万円、その後順次増え、最終的に令和15年度以降約1006万円の見込みである。

**問** 森林環境譲与税の用途はどうか。

**答** 森林経営管理法に基づく森林の経営管理費の他、木材の利用促進や環境保全を想定している。

**問** 他自治体との広域連携や鳥獣被害対策はどうか。

**答** 自治体内で使うのが基本であるが、広域連携は今後検討する。また、鳥獣被害対策は森林保全に係わることであれば、森林環境譲与税の対象となる。



## 福津市職員定数条例等を改正

### 全員賛成で可決

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布された。それにより、会計年度任用職員制度が創設され、特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件が厳格化された。市任用の臨時職員、非常勤職員及び嘱託職員を会計年度任用職員へ移行するため、各関係条例を改正及び廃止する。

#### 主な質疑

**問** 制度導入にどのくらい財源が必要か。

**答** 国県の補助はなく、一般財源で約4500万円増加する見通し。

## 福津市立幼稚園条例を改正

### 全員賛成で可決

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が、令和元年10月1日から施行され、幼児教育・保育の無償化が実施されることに伴い、関連する福津市立幼稚園条例について所要の改正を行う。

#### 主な質疑

**問** 国が「改正子ども・子育て支援法」の施行に関わる省令に誤りが見つかったが本条例への影響はないか。

**答** 本条例への影響はない。

## 福津市公民館条例を改正

### 全員賛成で可決

施設の老朽化による勝浦公民館廃止決定に伴い、本条例について所要の改正を行う。

(総務文教委員会審査報告)

## 人事案件に同意

《人権擁護委員》

花田 正孝 氏

任期 令和2年1月1日から  
令和4年12月31日まで

## 陳情・意見書

福津市保育所の建設予定地に関する陳情 矢野 真一

天皇陛下御即位奉祝賀詞決議に関する陳情書

天皇陛下御即位福岡県奉祝委員会  
実行委員長 山本 泰藏

右折車線及び右折優先信号増設に関する陳情書 山口 尚志

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

提出者 蒲生 守  
賛成者 中村 晶代  
高山 賢二





## 人事評価制度の基本的仕組みと人材育成について、及び災害時の対策本部の組織や権限と地域防災組織の現状と課題について調査

人事評価制度は、人事評価制度マニュアルに基づき、実施しているが、市民対応の最前線である窓口業務でのOJTは今後の課題である。また自主防災組織の組織率84%である。自治会単位による自主防災組織も設立されていないため、自主防災意識も十分でない。

(総務文教委員会所管事務調査)

### 人事評価制度について

人事評価制度は、平成28年度に導入し、工夫改善を行ってきているが、納得性・公平性・客観性が求められる。今後は、評価者、被評価者の評価の共通認識化、日常的に対話、評価する仕組み、研修を増やすことも必要。更に目標設定時に、能力開発の技術指導力、客観的なデータベースづくりや、他自治体の事例を参考にしての検討も望まれる。人材育成は、民間企業への派遣研修、研修効果の判定、特に窓口業務の能力育成が重点となる。

### 防災について

災害時の対策本部は、市長を本部長として設置され、職員の

配備や活動内容も定められている。対策本部の機能が失われた際の設備等の具体的な整備計画や、議会の動き方も自主的な議論が必要。地域防災組織は、自治会活動継続の困難さもあり、災害時にうまく機能するのか。また、防災推進員や防災サポートの役割の明確化と、地域消防団員の人員確保、備蓄防災倉庫などの市民への周知なども課題である。



水防訓練の様子

## 宮の元公園と津屋崎地域の公園の現状、及び観光振興の補助金・委託料の実態について調査

津屋崎地域において防災拠点と、憩いの場としての公園が不足していることから市の取組について現地調査を含め確認した。また観光振興の予算が今年度減額されていることから、事業内容について調査を行った。

(建設環境委員会所管事務調査)

### 公園管理について

津屋崎地域の宮の元公園の現地調査を行った。公園内にある施設は陶芸を中心に各団体の使用が多く行われていた。ただ、駐車場の案内が分かりにくい点や駐車スペースが限られていることから、利用者の利便性と防災時の一時避難場所として使用することから早急に駐車場改修を行うよう求めた。

### 観光振興について

観光振興について既存イベントの補助金は、ほぼ減額になっているが減額理由が不透明な部分があり改善を求めた。またイベント開催にあたり問題点として会場までのアクセス方法と会場周辺の渋滞を指摘。

委員会としてはイベント開催

中の貸切バス運行や市が保有するマイクロバスの使用緩和の検討を求めた。



利用しにくい宮の元公園駐車場

## こども総合支援の取組みについて兵庫県明石市を、在宅介護総合特区の取組みについて岡山県岡山市を視察

明石市は、子どもを核としたまちづくりやセーフティネットを確立し、こども総合支援条例の制定など子育てに特化した施策を展開。駅前ビルにはこども広場や図書館などを集約し利便性に富んでいた。

岡山市は国から「在宅介護総合特区」に指定され、規制の緩和、財政、金融、税制での支援を受けて、介護の理念をきめ細かく追求していた。

(市民福祉委員会所管事務調査)

**明石市は、**まちづくりの基本理念に「全てのこと私たちを」「まちのみんなで」「こども目線で」「本気で応援と掲げている。その結果、子育て世代の転入による人口の増加、税収の増加へと繋げている。

具体的には、今年4月児童相談所を開設。全国初の離婚前後のこども支援、児童扶養手当の毎月支給、無国籍者の支援、里親100%プロジェクト等々セーフティネットを確立している。

郊外にあった図書館を駅前ビルに新設、施設の中に妊娠期から幅広い年齢の子育てをサポートするこども広場、子育て支援センターを設置、子育て環境の充実化を図っている。



あかしこども広場のパンフレット

**岡山市は、**デイサービスの質の評価制度を導入している。このことよって、利用者の生活の質の向上、家族負担の軽減、事業所の改善意欲の向上につながり、更に介護給付費の削減に効果を上げている。

両市の取組みを本市でも参考にすべきと考へる。

## 議会広報紙の刷新に向けて、高校生が表紙写真を提供している岡山県津山市、イラスト表紙の兵庫県三田市を視察

津山市「みんちやい」は、委員の発案した津山弁で「〇〇してみよう」という意味。多くの人に手に取ってもらいたいという願いから命名。三田市「つなぐ」はイラストを表紙に、今年は、三田八景をテーマとしている。30〜40代をターゲットに紙面を構成。

(議会広報調査特別委員会所管事務調査)

### ▼岡山県津山市を訪問

市内の4高校の写真部が表紙写真を提供。紙面中も現場の写真で臨場感アップを狙った写真を掲載している。知ってほしい事業は、枠を大きくとり説明に写真・イラストを加え、読者の興味が湧くように紙面構成を行っている。



津山市議会だより令和元年6月号



三田市議会だより令和元年5月号

### ▼兵庫県三田市を訪問

イラストは公募により決定。2月ごろテーマを決めて依頼している。横書きに慣れ親しんでいる若い世代に読んでもらいやすい紙面作りを工夫した。紙面中は、色やデザイン等を多く使い構成されていた。